

平成 26 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名

事業コード

080201

がん検診事業

担当部課

部課コード

080200

健康管理課

TEL

2991-1811

開始年度

昭和

58

年度

→

終了年度

平成

年度

グループ

検診グループ

②事業の概要

事業の種類

☒ 自治事務

☐ 法定受託事務

☐ 法定受託＋附加

根拠法令

分野別計画・指針

がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針(国)・健康とこころ21

健康増進法

関連・類似事業

総合計画の体系

章

健康・福祉

節

保健・医療

基本方針

生涯を通じた健康づくりを推進します

事業開始の背景

国民のがん死亡を減少させるため、老人保健法に基づき、胃・子宮・乳がん検診(昭和58年)、肺がん(平成元年)、大腸がん検診(平成4年)を開始した。平成20年度から、健康増進法に基づく健康増進事業として、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき実施している。また、がん検診推進事業として、乳がん検診・子宮頸がん検診(平成21年度開始)、大腸がん検診(平成23年度開始)の無料クーポン券配布(※)による受診勧奨を実施している。
※対象者: 子宮頸がん…20歳・25歳・30歳・35歳・40歳、乳がん・大腸がん…40歳・45歳・50歳・55歳60歳

③事業の内容

目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)

がん検診を実施し、がんの早期発見と早期治療につなげ、市民のがんによる死亡の減少を図る。

対象(誰を、何を対象としているのか)

①胃・肺・大腸がん…40歳以上の市民

②乳がん…40歳以上の市民[女性]

③子宮頸がん…20歳以上の市民[女性]

対象数

単位

平成 24 年度

延べ438,529

人

平成 25 年度

延べ451,460

人

事業の具体的な内容及び実施方法

【募集方法】 4月発行の健康カレンダー、市HPで周知及び募集(受診対象者には受診券を発送する。)
検診車で検診は、6月号広報で7月～9月、9月号広報で10月～12月の検診について募集
【実施期間】 6月から3月まで実施
【実施方法】 保健センター、検診車(まちづくりセンター等)の集団検診、市内医療機関での個別検診、人間ドック(市民医療センター)のオプション
【自己負担額】 胃がん…1,200円、肺がん…800円(喀痰検査700円)、大腸がん…500円、乳がん…40～49歳/1,500円、50歳以上/1,000円、子宮頸がん…1,000円
【結果通知】 検診後、医師の判定を受け、概ね1ヶ月後に本人に結果を通知する。精密検査未受診者には通知を送付し受診を促している。

④経費

<会計種別>

一般会計

平成 24 年度 (千円)

平成 25 年度 (千円)

平成 26 年度 (千円)

当初予算

244,352

339,871

265,323

決算(見込み含む)

228,392

235,050

(非常勤特別職員)(臨時任用職員)

(0.00 人)

(6.25 人)

(0.00 人)

(6.20 人)

正規職員人件費

3.14 人

27,827

4.12 人

36,619

事業費合計

256,219

271,669

※「財源内訳」について
平成26年度のみ、当初予算の内訳となっています。

財源内訳

一般財源

198,567

230,880

231,103

国・県支出金

40,928

24,494

15,746

その他(一部負担金)

16,724

16,295

18,474

⑤実績

項目名

項目説明

単位

H 24

H 25

H26見込み

将来目標

活動実績

受診券発送件数

定員制
(胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮がん)

人

21,057

21,019

15,267

延べ受診者数

胃・肺・大腸・乳:40歳以上
子宮:20歳以上の延べ受診者数

人

46,278

46,296

⑥成果

項目名

項目説明

単位

H 24

H 25

H26目標値

将来目標

成果指標

乳がん検診受診率

(24年度受診者数＋25年度受診者数)
÷25年度対象者数
※国の指針に基づき2年に一度の受診のため、上記の算定式による

%

目標値

28

31

35

35

実績

24

22

☒ 「実績」拡大図る

☐ 「実績」縮小図る

目標達成状況

どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています

%

達成率

86

70

↑どちらかを
チェックしてください

⑦改善点

平成25年度中に改善した点(どのように改善したか、それにより何がどうなったかを具体的に記載してください)

・平日に受診する時間のない方(40歳～65歳)を対象に、保健センターにおいて胃がん検診と肺がん検診を同日に受診できる土曜日の検診を試行し、受診機会の増加を図った。 定員:40人 述べ申込者数:80人 延べ受診者数:52人 当日受診率:97%(平成25年度前半期の胃がん検診・肺がん検診平均受診率:72%) 市民医療センターと連携し、保健センターで実施している集団検診(胃がん検診と肺がん検診)において、一部の受診者のX線撮影を市民医療センターで行うことで、受け入れ可能人数を増加することができた。 胃がん検診:約400人増/年 肺がん検診:約470人増/年

⑧評価

評価

☒ 継続

☐ 終了

方向性の

事業実施方法(複数選択可)

☒ 拡大

☐ 縮小

☐ 改善

☐ 現状維持

☐ その他

理由

受診率向上を図るため、各がん検診の周知方法や受診勧奨等積極的に実施

次年度予算

☒ 拡大

☐ 縮小

☐ 現状維持

理由

消費税増税に伴う各検診委託料単価等の増額及び、働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業実施(予定)のため

今年度の状況と今後の方向性

がんは我が国の死亡原因の第1位であり、生涯のうちにがんにかかる可能性は、2人に1人と推測されている。市民の健康増進を図るうえで、がんを早期発見し、早期治療につなげることが重要である。今年度については80歳以上の方を対象とした受診日を設け、1日の受診者数を通常の半数にすることで、よりきめ細かい対応を行った。また、昨年度試行した土曜検診の受診率がとても高かったことから、今年度以降についても体制を整えながら土日実施の機会増加に取り組んでいく。今後も受診機会の拡大を図るとともに、市民への周知及び受診勧奨を実施するなど、健康に対する市民の意識を高め、受診意欲の向上を図る必要がある。

評価日

H26.8.12

評価者職氏名

健康管理課長 瀬能 幸則

⑨環境影響

有益な環境影響

有害な環境影響を及ぼす原因活動

文書の作成、公用車の使用

規制を受ける環境法令等

無

緊急事態

無